



2022年6月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A B & C o m p a n y  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 市 瀬 一 浩  
(コード番号：9251 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 経 営 管 理 本 部 長  
永 島 光  
TEL. 03-4500-1383 (代表)

### 「当社連結子会社による株式取得（孫会社化）に向けた 基本合意書締結に関するお知らせ」に関する想定Q&A

本日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるB-first株式会社が、当社グループのフランチャイジーである株式会社BELLTREE及び株式会社KESHIKIの全株式を取得し、同社を連結子会社化（当社の孫会社化）することを決議いたしました。本件につき想定Q&Aを作成いたしましたのでお知らせいたします。

今回の買収の目的は何でしょうか？  
また、どうしてこのタイミングでの買収になったのでしょうか？

今回の2社の買収目的は大きく2点ございます。1点目に2社の代表である鈴木氏、日比野氏に本社のFC本部の運営に参画していただく事によるグループ運営体制の強化、2点目に直営連結PLへの収益取り込みが挙げられます。タイミングについては、ポストコロナにおいて両社の収益が完全に回復するのを待つと買収金額が大きくなりすぎると想定される点も考慮し、このタイミングとさせていただきます。

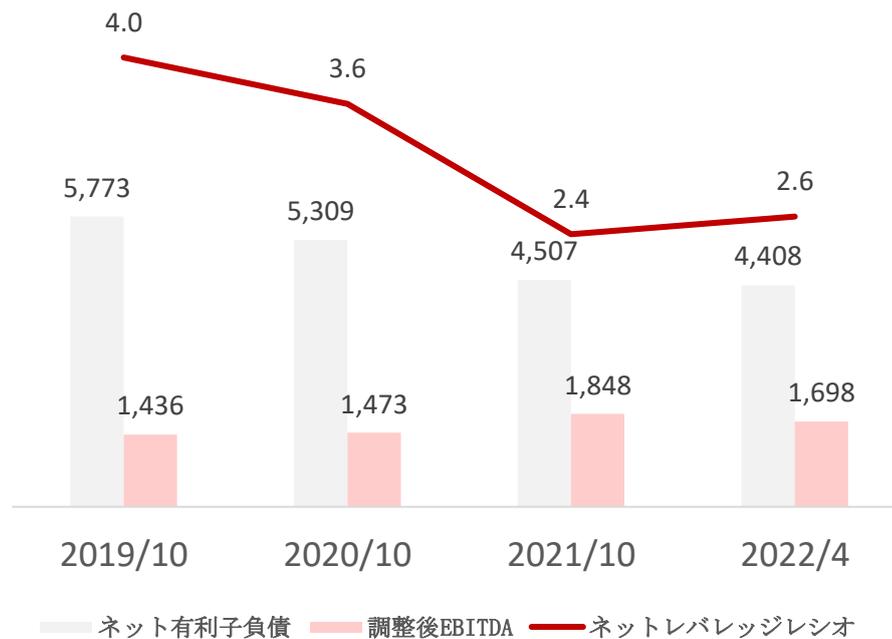
買収価格については適正であると考えますでしょうか？  
また、資本効率の観点からはどのように考えますでしょうか？

買収価格については社内基準並びに第三者評価の結果を参考にしつつ、昨今のM&A案件と比較しても保守的な買収価格設定であると考えております。

本案件におけるROIC（2023年10月期ベース）は9%程度を想定しておりますが、全額銀行借入によるファイナンスで実施する見込みであり、その場合ROEへの影響はございません。

銀行借入により資金調達を行うということでしょうか？  
また、その場合に返済に問題は生じないのでしょうか？

当社では借入水準をネットレバレッジレシオ（ネット有利子負債÷調整後EBITDA）をベースに測定しており、同指標が概ね4.0倍を下回る水準での経営を目標としております。ここ数年で既存借入金の返済が進んでおり（次頁グラフ参照）、調達資金の返済は問題ないと考えております。



尚、本株式取得に伴って借入金の増加を想定しておりますが、2022年10月期末のネットレバレッジレシオについては3倍程度と適正な水準内に収まるものと見込んでおります。

今回の買収によるPLインパクトはどの程度を想定していますか？

2022年10月期の当社連結業績予想に与える影響は軽微であります。翌期である2023年10月期においては売上収益で37億円程度、営業利益で1.4億円程度、EBITDAで2.9億円程度の増加インパクトを見込んでおります。

BELLTREEは債務超過であるようですが、そのような企業を買収して問題ないのでしょうか？

BELLTREEは創業初期に、首都圏を中心に大型の店舗を多く展開していたことから、現在グループ出店の主流となっているより収益性の高い郊外の小型店舗への切り替え（店舗統廃合）をここ数年行ってきました。またコロナ環境下でも安定した利益を出せるよう、前期（2021/4期）に低採算店舗については建物附属設備の減損処理を行っております。また、今回AB&Companyの連結子会社にするにあたっては、建物附属設備の償却期間の大幅な短縮（15年→7年）や資産除去債務の新規計上等の会計基準の変更も行うため一時的な費用処理が発生します。

結果として債務超過にはなっておりますが、損益面は大幅に改善しており、今後当社の連結PLに大きく寄与すると考えております。

FCによる店舗展開をメインと理解していましたが、今後もFC法人の直営化は推進するのでしょうか？

毎年FCオーナーが増え、店舗数も増加していく中で、フランチャイズ本部の運営体制の強化の観点から今後もFCを直営化する可能性はございます。ただし、買収側と被買収側が合意するのが前提であり、現在新規で進行中の案件はございません。

直営法人はAB&Companyの子会社にあたりと認識していましたが、  
なぜ今回のBELLTREE・KESHIKIはB-firstの子会社という組織形態としたのでしょうか？

直営の美容室運営会社は、美容室事業の中核かつFC本部であるB-first株式会社の子会社とすることが適切であるという判断をしており、現在AB&Companyの子会社となっている直営美容室運営会社も中長期的に組織再編によりB-first株式会社の子会社に変更する可能性もございます。

FCならびに同業である美容室を買収する際の基準は何でしょうか？

買収を検討する場合には、期待する収益に対して適正な価格の範囲内であり、かつ当社グループの成長が推進される案件が前提となります。

加えて、本買収の目的とも重複いたしますが、被買収企業の代表取締役並びにコア人材が本社経営執行部に残りグループの発展に貢献してくれる点、また買収後も安定した利益を計上可能であり本社連結PLに寄与するか、といった点が重要となります。

以上